AI SEARCH CHECKLIST

AI検索対策で必要なこと5つ＋自己チェック10問

検索の次は、AIに聞く時代へ。

ChatGPTやGoogleのAIに
「おすすめの会社」として紹介されやすい会社の条件

御社、AIに
紹介されてますか？



AI対策くん

HP制作400社以上の現場から

INTRODUCTION

お客さんの探し方が、変わりはじめています。

これまでは、検索して、いくつかのHPを見比べて選ぶのが当たり前でした。いまは**AIに聞いて、出てきた答えでそのまま決める**人が増えています。AIの答えに出てくるのは、数社だけ。そこに入っているかどうかで、問い合わせの入り方が変わってきます。

これまで

検索して
比べて選ぶ

地域名　業種　おすすめ

→

これから

AIに聞いて
そのまま決める

この辺でおすすめの会社は？



AI対策くん

ためしに今、ChatGPTに「**地域名＋業種でおすすめは？**」と聞いてみてください。御社の名前、出てきましたか？

この資料の使い方

1. 3ページで、AIがどうやって会社を選んでいるかをつかむ
2. 4〜6ページで、AI検索対策に必要なこと5つを知る
3. 7ページの自己チェック10問に答えて、自社の今を確かめる

HOW AI CHOOSES

AIは、ネット上の情報を集めて答えています。

AIは、HP・Googleマップ・口コミ・ほかのサイトなど、ネット上にある情報を読んで「この地域で〇〇なら、ここ」とまとめて答えています。

HP　Googleマップ　口コミ　ほかのサイト　→

AIが読んで、まとめて答える

1 何の会社か、はっきり分かるか

どこで・何をしている会社かが読み取れないと、そもそも候補に入りにくくなります。

2 情報が、場所ごとにそろっているか

HPとGoogleマップで住所や営業時間が違うなど、情報がばらばらだと、紹介されにくい傾向があります。

3 自社以外の場所で、話題になっているか

口コミや、ほかのサイトでの紹介など、自社以外からの声があるかどうかも見られています。



AI対策くん

AIは、ネット上で自社がどう書かれているかの“まとめ役”。HPだけ見ているわけではありません。

※AIがどの情報をどれだけ重く見るかは、公開されていません。ここに書いたのは、現場で確かめてきた中で見えている傾向です。

5 ESSENTIALS

AI検索対策で必要なこと5つ

AIに紹介されやすい会社には、共通していることがあります。まずは全体を見てください。

1 **HPに「何の会社か」が書いてある**
AIが会社を理解する入り口

2 **Googleマップの情報が整っている**
地域で探されたときの土台

3 **口コミや、ほかのサイトで名前が出ている**
自社以外からの声

4 **情報がどこでも同じになっている**
HP・マップ・SNSのずれをなくす

5 **AIでの出方を、定期的に確かめている**
AIの答えは変わり続ける



AI対策くん

どれも**特別な技術の話ではありません**。でも、5つ全部そろっている会社は、思っているより少ないです。

WHY IT MATTERS

なぜ必要なのか

1 HPに「何の会社か」が書いてある

デザインがきれいでも、**どこで・誰に・何をしている会社か**が文章で書かれていないHPは少なくありません。人は写真や雰囲気で分かっても、AIは書かれている言葉から会社を理解します。ここがあいまいだと、ほかの対策をしても効果が出にくくなります。

2 Googleマップの情報が整っている

「近くの〇〇」「〇〇市の〇〇」のように地域で探されたとき、AIはGoogleマップの情報も参考にしています。**営業時間・サービス内容・写真**が古いままだと、せっかく候補に入っても選ばれにくくなります。

3 口コミや、ほかのサイトで名前が出ている

自社のHPで「選ばれています」と書くより、**お客さんの口コミや、ほかのサイトでの紹介**のほうが、AIには信頼できる情報として扱われやすい傾向があります。



AI対策くん

400社以上のHPを見てきて、いちばん多い抜けが1つ目です。おしゃれなHPほど、文章が少ない傾向があります。

WHY IT MATTERS

なぜ必要なのか

4 情報がどこでも同じになっている

移転前の住所が残っている、HPとマップで電話番号が違う、SNSの営業時間が古い。**小さなずれ**でも、AIからは「どれが正しいか分からない会社」に見えてしまいます。

5 AIでの出方を、定期的に確かめている

AIの答えは、同じ質問でも日によって、使うAIによって変わります。**一度やって終わりではなく**、今どう紹介されているかを確かめながら直していくことが大切です。

5つは、つながっています

どれか1つだけ整えても、ほかが抜けていると効果は出にくくなります。HP・Googleマップ・口コミを別々に見るのではなく、まとめて整えることがAI検索対策の考え方です。次のページで、自社がどこまでできているかを確かめてみてください。



AI対策くん

5つのうち、自社で手が回るのはどこか。次のチェックで「いいえ」がついたところが、伸びしろです。

SELF CHECK

自己チェック10問

当てはまるものに「はい」をつけて、数を数えてください。

Q1	HPのトップに「どこで・何をしている会社か」が文章で書いてある	はい	いいえ
Q2	会社名・住所・電話番号が、HP・Googleマップ・SNSで同じ表記になっている	はい	いいえ
Q3	Googleマップに登録していて、営業時間やサービス内容が今の情報になっている	はい	いいえ
Q4	ここ3か月以内に、Googleの口コミが入っている	はい	いいえ
Q5	口コミに返信している	はい	いいえ
Q6	サービスごとのページがあり、料金の目安や対応エリアが書いてある	はい	いいえ
Q7	お客さんからよく聞かれる質問と答えが、HPに載っている	はい	いいえ
Q8	自社のHP以外（紹介サイト・取材記事・地域の団体など）に会社名が出ている	はい	いいえ
Q9	代表やスタッフの顔・経歴が、HPに載っている	はい	いいえ
Q10	ChatGPTやGoogleのAIに、自社の地域と業種で「おすすめ」を聞いてみたことがある	はい	いいえ

RESULT

チェックの結果

「はい」の数で、今の状態の目安が分かります。

8〜10
「はい」の数

土台はできています

あとは、実際にAIでどう紹介されているかを確かめる段階です。出てこない場合は、情報の中身や書き方に原因があることが多いです。

5〜7
「はい」の数

抜けているところがあります

「いいえ」がついた項目が、AIに紹介されにくい原因になっているかもしれません。どこから直すかで、効果の出方が変わります。

0〜4
「はい」の数

まだ、AIに見つけてもらいにくい状態です

多くの会社がこの段階です。逆に言えば、整えれば変わる余地が大きいということでもあります。まずは、自社がAIにどう紹介されているかを知るところから始めましょう。

※この結果は目安です。同じ点数でも、業種や地域、競合の状況によって、AIでの出方は変わります。



AI対策くん

「いいえ」が多くても大丈夫。どこから直すかさえ決まれば、やることははっきりします。

COMMON MISTAKES

よくある勘違い

× 記事をたくさん書けば、AIに出てくる

大切なのは記事の数より、何の会社かが伝わるかどうかです。中身の薄い記事を増やしても、効果は出にくい傾向があります。

× SEOをやっていれば、AI対策もできている

重なる部分は多いですが、AIはHPだけでなく、Googleマップや口コミ、ほかのサイトの情報もあわせて見ています。

× 専用のツールや設定を入れれば終わり

設定を少し触っただけで終わっている対策も見てきました。HPや情報の中身が変わらなければ、AIの答えも変わりにくいです。

× 一度対策すれば、ずっと出てくる

AIの答えは変わり続けます。出方を確かめながら、直し続けることが前提です。



AI対策くん

「対策しました」と言われても、**何をどこまで直したのか**は確認しておきたいところです。

MONITOR

何から直せばいいか、知りたい方へ



自己チェックで分かるのは「できていないこと」まで。実際にAIでどう紹介されているか、何から直すと効果が出やすいかは、会社ごとに違います。そこで、AI検索の診断をモニター価格でお受けしています。

診断で分かること

- ChatGPT・Perplexity・GoogleのAIで、自社がどう紹介されているか
- Googleマップでの見え方と、競合との違い
- HP・SEO・Googleマップの、今の状態
- 何から直すと効果が出やすいか（レポートでお渡しして、ご説明します）

01	02	03	04
LINEで申し込み	オンラインで打ち合わせ	審査	診断とレポート

モニターは5名限定です。

このLINEに「診断」と送ってください。

※対策を一緒に進められる方を選ばせていただくため、打ち合わせのうえで審査があります。結果は事例として紹介させていただきます（社名を伏せる形も可）。